

一般演題（ポスター） | 一般演題（ポスター発表）：介護・介護予防

2025年6月28日(土) 12:50 ~ 13:20 ④ ポスター発表3（幕張メッセ展示ホール8）

## 介護・介護予防

[P-011]

歯科専門職が不在でも実施可能な介護予防事業複合プログラムの実現にむけて

○大河 貴久<sup>1,2</sup>、岡本 美子<sup>2</sup> (1. 京都市北歯科医師会、2. 大河歯科医院)

[P-013]

飴の形状の違いが舐摂行動前後の口腔乾燥状態の変化に与える影響

○百合草 誠<sup>1</sup>、大原 千洸<sup>2</sup>、鈴木 克明<sup>2</sup>、水上 陽介<sup>2</sup> (1. 愛知淑徳大学 食健康科学部、2. 春日井製菓株式会社 商品開発部)

一般演題（ポスター） | 一般演題（ポスター発表）：介護・介護予防

2025年6月28日(土) 12:50～13:20 ④ ポスター発表3（幕張メッセ展示ホール8）

**介護・介護予防****[P-011] 歯科専門職が不在でも実施可能な介護予防事業複合プログラムの実現にむけて**○大河 貴久<sup>1,2</sup>、岡本 美子<sup>2</sup> (1. 京都市北歯科医師会、2. 大河歯科医院)**【目的】**

京都市内に12箇所介護予防プログラムを専門のスタッフが提供する地域介護予防推進センターが存在し、これまでも、各地域で栄養、運動、口腔といったそれぞれの視点で介護予防プログラムを提供してきた。京都市北歯科医師会としても、歯科医師を派遣しての講話、地域でのイベント開催、栄養や運動の教室と連携したプログラムの実施か介して深く関わってきた。2024年秋から、介護予防事業の実施にあたり、基本的に複合プログラムでの実施を求める声が高まり、北区地域介護予防推進センターにおいては、歯科専門職がいない為、口腔を絡めた複合プログラムの実施が困難であるとの申し出を受け、我々は歯科専門職が不在でも実施可能な口腔プログラムの提供について検討したので報告する。

**【方法】**

京都府歯科医師会では、年に2回地域介護予防推進センターと地区の歯科医師会との連絡会および研修会を開催している。協力を得られた研修参加の職員を対象として、質問紙票を用いたアンケート調査を実施した。結果は連結不可能匿名化したうえで処理した。質問内容な1. 「センターにおける一番人気の口腔プログラムは何か」、2. 「歯科に関わる講話について何をしてほしいか」、3. 「栄養プログラムと口腔との連携において歯科にどのような講話やコンテンツを提供してほしいか」、4. 「運動プログラムと口腔との連携において歯科にどのような講話やコンテンツ提供をしてほしいか」、5. 「歯科医師や歯科衛生士に実施してほしい講話やコンテンツは」とした。これらの質問に対する回答を踏まえ、京都市北歯科医師会では、「歯医者さんと始めるオーラルフレイル・フレイル対策」というDVD製作およびYouTubeへの動画のアップロードを実施した。

**【結果と考察】**

多くのセンターでは、パタカラや唾液腺マッサージ、歯科医師による講和が人気であった。口腔と運動、口腔と栄養の関わりについては、非歯科専門職がたえるのには限界があり、求められるコンテンツとして希望が多かった。製作したDVDは、地域において好評であり、口腔プログラムとの複合プログラム実施の壁を低くできた。今後、各センターに情報提供を行い、動画の運用活用方法について検討を続けていきたい。

COI開示：なし

倫理審査対象外

2025年6月28日(土) 12:50 ~ 13:20 皿 ポスター発表3（幕張メッセ展示ホール8）

## 介護・介護予防

## [P-013] 飴の形状の違いが舐摂行動前後の口腔乾燥状態の変化に与える影響

○百合草 誠<sup>1</sup>、大原 千洸<sup>2</sup>、鈴木 克明<sup>2</sup>、水上 陽介<sup>2</sup> (1. 愛知淑徳大学 食健康科学部、2. 春日井製菓株式会社 商品開発部)

【目的】 高齢者において、基本属性および口腔内状況の調査、飴の舐める行動（以後、舐摂行動）前後の口腔乾燥状態の評価をすることにより、基本属性および口腔内状況が舐摂行動に与える影響を明らかにするとともに、飴の形状の違いが舐摂行動前後の口腔乾燥状態の変化に与える影響を明らかにすることを目的とした。このことにより、口腔乾燥状態を改善する方策の一助とした。【方法】 対象者は、愛知県内のA特別養護老人ホームに入所する要介護高齢者14名とした。基本属性に加え、口腔内状況について調査し、口腔内環境を評価するために口腔水分計ムーカス（株式会社ライフ社製）を用いて口腔粘膜湿潤度を測定した。試験食品は、「ハッカアメ」とし、形状は「平型」および「波凸凹型」の2種類とした。舐摂行動前に口腔粘膜湿潤度を測定し、3分間の舐摂行動直後に再度口腔粘膜湿潤度を測定した。同時に舐摂行動前後の飴の重量変化量を計測した。【結果と考察】 年齢と波凸凹型の重量変化量に有意な負の相関がみられ（ $r=-0.583$ 、 $p<0.05$ ）、年齢が高くなると重量変化量が減少することが明らかとなり、年齢が高いものほど舐摂機能が低いことが示唆された。また、現在歯数と波凸凹型の重量変化量に有意な正の相関がみられ（ $r=0.538$ 、 $p<0.05$ ）、現在歯数が多くなると、重量減少量が増加することが明らかとなり、現在歯数が多いものほど舐摂機能が低いことが示唆された。舐摂行動前後における口腔粘膜湿潤度を比較したところ、平型において、舐摂行動前の口腔粘膜湿潤度が $24.76\pm 5.28$ 、舐摂行動後の口腔粘膜湿潤度が $26.10\pm 2.46$ であり、有意な差はみられなかった（ $p=0.34$ ）。波凸凹型において、舐摂行動前の口腔粘膜湿潤度が $22.76\pm 4.24$ 、舐摂行動後の口腔粘膜湿潤度が $25.95\pm 2.16$ であり、有意な差がみられ（ $p=0.02$ ）、舐摂行動前に比べて舐摂行動後の口腔粘膜湿潤度が有意に上昇していた。飴の形状の違いにより舐摂行動前後の口腔粘膜湿潤度の変化に差があることが明らかとなり、波凸凹型は平型に比べ、舐摂行動前後の口腔粘膜湿潤度の変化が大きく、より口腔乾燥状態を改善する効果があることが示唆された。（COI 開示：春日井製菓株式会社）（愛知淑徳大学健康医療科学部倫理委員会 承認番号 2023-9号）